

湧水

仙北市立神代中学校

学校報

NO. 11

平成29年7月11日発行



◆お見事 吹奏楽部 ゴールド金賞受賞！！(15年ぶり)

全日本吹奏楽コンクール第59回秋田県大会県南地区大会 「鳥之石楠船神 ～吹奏楽と打楽器群のための神話」

素晴らしい演奏は人々の心を打ちます。その感動を文章で説明することは難しいのですが、正に会心の出来ではなかったでしょうか。私には「船に乗った神様が荒波の中をこちらに向かってくる光景」が見えたように感じました。きっと表現豊かで、迫力ある「神中の音」が観客の心をゆさぶったのでしよう。観客の皆さんの中にもハンカチを手にする方をたくさん見かけました。



曲を理解し、ものすごい集中力で自分たちの音楽を表現しきった吹奏楽部の皆さん、本当におめでとう！！長い期間全県出場を逃してきた神中ですが、あなたたちの努力や情熱を、今年の神様が認めてくださったのでしよう。8月1日の全県大会に向けてさらに曲に磨きをかけて、全県に「神中の音」を響かせてきてください。

○満面の笑顔 凱旋した部員の皆さんです。文化面でも神中の快進撃が続いています。



◆ちょっと待った「当たり前力」

～授業における「当たり前力」って何だろう？～



初志貫徹 ～当たり前力の高い神代中～

今年度の生徒会テーマです。やるべきこと、やれること、やってほしいことが自然にできる力それが「当たり前力」なのでしょう。



○「当たり前力」発揮！？

「誰にでもあいさつできる」 「掃除をがんばれる」 「進んで発表できる」

そしてその具体的な行動目標がこの3つに示されています。確かにとても大切なことですね。

さて、各種の研究会や授業参観等でお客様をお迎えし、真剣に授業に臨む本校生徒の姿を見て気付いたのが、授業中の約束事であるはずの「姿勢・挙手の仕方・返事・声量」などの学習規律が不十分だということです。そのことが改善されれば、さらにより授業となり皆さんの学力も大きく向上するはずです。

生徒の皆さん。「当たり前力」を発揮する場面をより細かく想定することで、より具体的に頑張るポイントが見えてくるはずです。全ての学習や活動は、皆さんがよりよく成長し確かな力をつけるためにあります。生徒会の皆さんにも、その具体的な場面を考えて目標を立ててくれることをお願いしたいと思います。

示せ 神中の威力を！！

